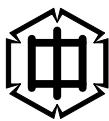


洛西だより



竹の子

令和5年2月2日発行
京都市立洛西中学校
文責：校長 小林鉄男
第11号

「自立・貢献・夢さがし」～誇りをもって、自らの未来を切り拓く、たくましい生徒を育てる～



令和5(2023)年、卯年がスタート！

令和5(2023)年、卯年【うさぎどし】がスタートしました。「卯」はもともと「茂」という字が由来といわれ、「春の訪れを感じる」という意味や、「卯」という字の形が「門を開いている様子」を連想させることから「冬の門が開き、飛び出る」という意味があるといわれています。また、芽を出した植物が成長していく、茎や葉が大きくなる時期で、目に見えて大きく成長する年ともいわれています。3学期の始業式でもお伝えした通り、自分ができそうなことに積極果敢に挑戦していき、【思いを行ひへ！】という気持ちで、目標の実現に向かって一歩一歩前進していきましょう。そして「卯年」にちなんで、さらに大きくジャンプアップしていくように願っています。



収穫の3学期、次年度へのつながりの3学期！

2学期の取組では、学校行事を中心に遺憾なく力を発揮することができ、たくさん稲穂が実りました。3学期は実ったお米を収穫する時期です。1年のまとめの学期であります。1月はいぬ、2月は逃げる、3月は去る」というように、とても早く過ぎ去っていきます。1日1日を大切に、1年のまとめをしっかり行ってほしいと思います。その取組が、より良い次年度の始まりにつながります。3年生は、中学校生活のまとめを行うと共に、中学校の最終目標である自らの進路実現に向けて取り組んでいきます。願書点検、出願、受験票の受理、入試前日・当日、結果発表と続いていきます。今まで培ってきた力が如何なく発揮できるように、心身のコンディションを万全に整えて、毎日を大切に過ごしてほしいと思います。2年生は、3年生の姿が来年の自分たちの姿であると想像し、4月の3年生のスタートがスムーズにきれるように、着実にまとめと準備を進めてほしいと思います。1年生はこれまでの期間で、日に日に中学生の自覚が高まってきました。自ら考え行動できる力をさらに磨き、中核学年の2年生になる準備をしてほしいと思います。皆さんの成長を期待しています。



2年生、人権学習に取り組む！

2年生の人権学習は外国人問題について、「他民族との違いを認め合い、互いに尊重する態度を育てる。」を目指して、異文化を排除するのではなく尊重し、他民族と共生することを学んできました。第1時間目は異文化疑似体験を行い、生活に根付いた文化について学びました。第2時間目は現在残っている様々な差別の原因と、差別に対する考え方について深めました。第3時間目は在日コリアンについて、現在起こっている問題や共に生きる社会への思いを学びました。第4時間目の1月13日(金)は、在日コリアンの講師の先生に来校いただき、「14歳の君たちに伝えたいこと」と題して講演を行っていただきました。2年生の皆さんには、よく集中して話を聞くことができました。講義の後、生徒からのいくつかの質問に、とても丁寧に答えていただきました。大変わかりやすく貴重なお話を聞くことができ、有意義な時間となりました。





3年生、中学校生活最後の定期テストを終える！

1月18日(水)から20日(金)までの3日間、3年生の学年末テストが行われました。これまでの学習の成果を発揮しようと、3年生の皆さんには、本当によく集中してテストに取り組んでいました。中学校生活最後の定期テストを終えて、達成感を十分得られたことだと思います。次は2月10日(金)から始まる私学入試と2月16日(木)・17日(金)の公立前期選抜、そして3月8日(水)に行われる公立中期選抜と進んでいきます。持てる力を100%出し切るために、最後まで計画的に学習を行いましょう。また万全の体調で入試に臨めるためにも、質の良い睡眠時間の確保や、栄養のバランスが取れた食事を決まった時間に摂るなど、体調管理に努めてください。3年生の皆さんを応援しています。頑張ってください。



1年生、車いすバスケットボールを体験！

1月20日(金)5・6限に体育館において、1年生が人権学習の一環として、車いすバスケットボールに取り組みました。元シドニー・北京パラリンピック日本代表コーチの方と京都アップスの選手の方々を講師にお迎えして、「障害のある方々との交流を通じて、様々な人と共に協力し合いながら生きていこうとする気持ちを育てる」ことを目的に学習を進めました。

車いすの乗り方を講師の先生から説明が行われた後、京都アップスの選手のお二人から模範を示していただき、生徒たちはグループに分かれて、全員が車いすを体験しました。うまく車いすを乗りこなすことができるようになってくると、車いすバスケットボールの試合を楽しみながら学習を進めることができました。今回の学びを活かし、これから時代を担う1年生の皆さんに、社会に広く人権が保障され、みんなが共に幸福に暮らせる世界を実現していくことを願っています。



校内において英語検定試験を実施！

1月30日(金)放課後に、校内において英語検定試験を実施しました。英検校内受験を行いました。今回の検定が、今年度最後の実施でした。準2級の受験者は2名、3級は6名、4級は14名、5級は5名でした。時期的なこともあります、2年生が18名、1年生が9名でしたが、受験生の皆さんには真剣に受験していました。グローバル化が進む中で、コミュニケーションツールとして英語の重要性が年々増しきっています。授業の中で、英語を聞く、読む、話す、書くことのそれぞれの力を高めてほしいと思います。そして英語検定試験を受験する人が、今後も増えていってくればうれしく思います。



3年生、面接指導（模擬面接）を実施！



1月25日(水)6限に、入試で実施される面接に向け、全校体制で「面接指導（模擬面接）」を行いました。1・2年の先生方が面接官役を担当しました。3年生の皆さんには、これまで各学級で取り組んできた面接事前練習を活かして、よい緊張感を持って挑戦し、しっかりと取り組もうとする熱意が感じ取れる受け答えができていました。私学入試（面接試験）に向けて、もう一度「志望動機と志望理由」「中学

校生活で頑張ったことや印象に残っていること」「高校生活で頑張りたいこと」「「自分の長所と短所」「将来の夢」「志望校を卒業した後に取り組みたいこと」などを、整理しておいてください。自分の考えや思いがつまつた言葉は説得力があり、志望校の面接官の先生方によく伝わります。ベストを尽くして頑張ってください。



子どもを共に育む京都市民憲章！

子どもを健やかで心豊かに育む社会を築くために、京都市民共通の行動規範として制定された「京都はぐくみ憲章（子どもを共に育む京都市民憲章）」。京都はぐくみ憲章の理念に基づく行動は「子どもを笑顔にするため」であり、子どもが笑顔になることで周りの大人も笑顔になることを目指し、市民共通の基本姿勢としてテーマが設定されました。子どもたちの笑顔あふれる「はぐくみのまち・京都」の実現に向けて、取組が進められています。本校も子どもたちの笑顔を大切にしています。

ここぞ、子どもを真ん中に!!

私たち一人一人が行動しよう

子どもたちを健やかに育むための、大人としての行動規範を示した「子どもを共に育む京都市民憲章（愛称：京都はぐくみ憲章）」の理念を礎に、全ての子どもたちの今と未来のために、私たちPTAが先頭に立って取り組みましょう。

子どもを共に育む京都市民憲章

わたくしたちのまち京都には、子どもを社会の宝として、愛し、慈しみ、将来を託してきた、人づくりの伝統があります。

そうした伝統を受け継ぎ、人と自然が調和し、命のつながりを大切にして、子どもを健やかで心豊かに育む社会を築くことは、京都市民の使命です。

大人は、子どもの可能性を信じ、自ら育つ力を大切にして、子どもを見守り、褒め、時には叱り、共に成長していくことが求められます。そして、子どもを取り巻く状況を常に見つめ、命と健やかな育ちを脅かすものに対して、毅然とした態度で臨む必要があります。

わたくしたちは、子どもたちの今と未来のため、家庭、地域、学校、企業、行政など社会のあらゆる場で、人と人の絆を結び、共に生きるうえでの行動規範として市民憲章を定めます。

わたくしたちは、

- 子どもの存在を尊重し、かけがえのない命を守ります。
- 子どもから信頼され、模範となる行動に努めます。
- 子どもを育む喜びを感じ、親も育ち学べる取組を進めます。
- 子どもが安らぎ育つ、家庭の生活習慣と家族の絆を大切にします。
- 子どもを見守り、人と人が支え合う地域のつながりを広げます。
- 子どもを育む自然の恵みを大切にし、社会の環境づくりを優先します。

(平成19年2月5日制定
(同年3月13日憲章推進の市会決議)

